

学会便り 第135回秋期大会報告

## 第25回「女性会員の会」報告

### The 25th women's meeting of the Japan Institute of Light Metals

大島 智子

Tomoko OHSHIMA

第135回秋期講演大会中、芝浦工業大学豊洲キャンパスで、11月10日(土)12:10~13:10入退室自由の、第25回女性会員の会を開催しました。参加者は第10回軽金属女性未来賞を受賞した富野麻衣さんをはじめ合計30名(女性23名、男性7名)。初参加の方は14名で、イランからの留学生や韓国・中国から来られて日本の大学・企業で働き始めたばかりの方もいらっしゃいました。お弁当と、お菓子をいただきながら楽しく懇談しました。お菓子：NYキャラメルサンド、チョコレートサンド、東京駅焼きショコラ、東京駅丸の内駅舎クリスピーショコラ、しみみ、東京芝えびせんべい(担当：世話人)。彩の国生サブレ(差入：成蹊大学 酒井 孝先生)、和ラスク(差入：鈴木友梨さん、和泉麻由佳さん)、栃木限定アルフォート(差入：河野亜耶さん、康 世薇さん)、なごやん(差入：上田 薫さん)。本会と同時に、懇親会時間帯も含め、学会託児室を設置しましたが、利用はありませんでした。

#### 【自己紹介：氏名・所属、男女共同参画委員会への要望など】

参加者には自己紹介とともに、①男女共同参画委員会に言いたいこと・伝えたいこと、②この1年で一番楽しかったこと、のいずれかをスピーチしていただきました。

①では「女性の働き方を変えるのは男性の意識」、「男女それぞれが抱えるモヤモヤを解決できるといい」といった意見が出ました。職場でダイバーシティ関連の業務をしていた方からは「1対1で会話をする。複数で対話していると個人の問題が一般化されてしまう。」とのアドバイスがありました。

②では「海外・国内旅行をしたこと」、「社会人になり初任給をもらえたこと」、「結婚して生活環境が変わったこと」などの意見がありました。

中締め後にジェンダーバイアス(社会的、文化的な性差別、偏見)について意見交換を行いました。家庭での家事分担は本会に参加した20代~30代と40代で傾向が異なるようで、風邪をひいて会社を休んだのに、家事をしていた自分に「家事は自分がするもの」と思っていたことに気づいた(40代)、という報告。

一方、20代~30代は「結婚前から家事は半分ずつ分担しよう、と伝えていた」、「育児休暇中に家事分担を夫にシフトしていった」、「料理と掃除洗濯、得意分野をそれぞれが担当している」など、各家庭それぞれで家事分担されているようです。



今回から女性未来賞受賞者の講演が一般講演に組込まれたので、発表会場で富野さんのお話を聞きました。



女性会員の会・中締め(撮影：茂泉 健さん)



懇親会(撮影：青木文謙さん)

職場では「子供がいるから女性が早く帰る」ことを容認しているが、「みんなが早く帰る」環境にならないといけないのでは? という意見が出ました。政府が掲げている「働き方改革」は、男性・女性関係なく「ワークライフバランスが片寄りすぎない環境を作っていくこと」ではないかと感じました。

最後に、大会実行委員長の青木孝史朗先生始め、託児担当の芹澤 愛先生、大会実行委員のご配慮と、力強い応援会員の皆様に改めて感謝いたします。

世話人：関 史江、小原美良、上田 薫、大島智子

軽金属学会「女性会員の会」の歴史は以下をご覧ください。  
<https://www.jilm.or.jp/page-resource04>